# 名城大柳沢研クロニクル 2012

120329 前期第 0 回ゼミ
120402 PC 講座
120402 PC 講座
120411 新入生歓迎会
120411 前期第 1 回ゼミ
120418 前期第 2 回ゼミ
120425 前期第 3 回ゼミ
120425 米澤誕生日
120430 BBQ
120502 前期第 4 回ゼミ
120507 文化遺産防災アイデアコンペ提出
120508 3 年生第 1 課題 提出
120509 前期第 5 回ゼミ
120516 前期第 6 回ゼミ
120516 中村誕生日
120518 高島市森林組合・函館山敷地視察
120523 前期第 7 回ゼミ
120525 3 年生第 1 課題 講評会
120526 理工学部オープンラボ
120530 前期第 8 回ゼミ
120531 名古屋建築研究会 大学巡り
120602 高橋誕生日
120606 機器回収
120606 前期第 9 回ゼミ
120610 計画系ボーリング大会 飲み会
120613 前期第 10 回ゼミ
120613 柳沢研ロゴコンペ
120620 前期第 11 回ゼミ
120623 理工学部オープンラボ
120626 平野誕生日
120627 前期第 12 回ゼミ

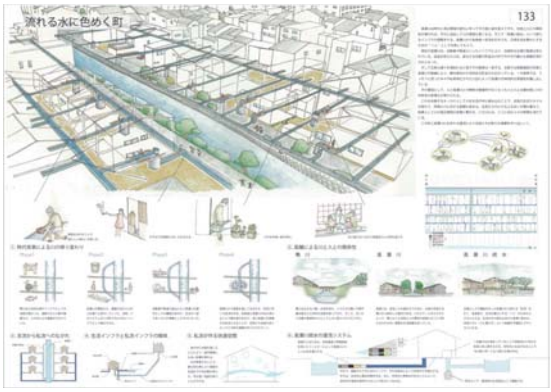
↑ゼミ室大掃除　新たに柳沢研究室をつくるために、ゼミ室のみんなで大掃除。安藤研究室のころの本棚やロッカーなどをそのまま使わせていただくことになりました。しっかり使い込んだ汚れを落とすために、みんな必死で雑巾がけをしました！なんだか小学生の頃の掃除の時間を思い出しますね。大掃除の結果、研究室もきれいになり、清々しいゼミ活動のスタートがきれました。

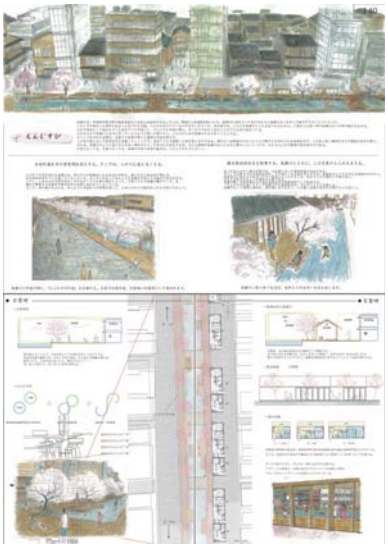
↓第 0 回ゼミ　柳沢研が初めて全員が顔合わせをした、第 0 回ゼミ。3 年生は緊張しながら自己紹介をしました。そんな 3 年生を 4 年生は温かく迎え入れてくれたので、ゼミが終わる頃には 3 年生の表情も和らいでいました。今後のゼミの活動の日程や、予定を話し合いました。

↑新歓　新しく研究室に入る新 3 年生へ向けて、新歓が行われました。柳沢研究室が発足して初めての飲み会であったため 3 年生にとっては初めて話す先輩方も多かったのですが、4 年生の先輩方は温かく迎え入れてくれました。充実した研究室活動を目指し、メンバー間の結束をつくるための良い交流会となりました。

第 1 回ゼミの後、米澤くんのサプライズ誕生日会をしました。まさかサプライズされるとは思っていなかった米澤くんは、その日ゼミの後バイトが入っていたのですが、バイトを急遽休んでくれて、みんなでお祝いすることができました。

→BBQ　みんなで BBQ をしました。3・4 年生ともに準備をするうちに打ち解けて、和気あいあいと会話をしながらこんがり焼けたおいしい肉を食べました。食べた後はサッカーやキャッチボールで汗を流してカロリー消費という女子にも優しい BBQ でした（笑）。日が暮れてからは花火をして解散。ゼミ全体の仲が深まった濃い一日でした。

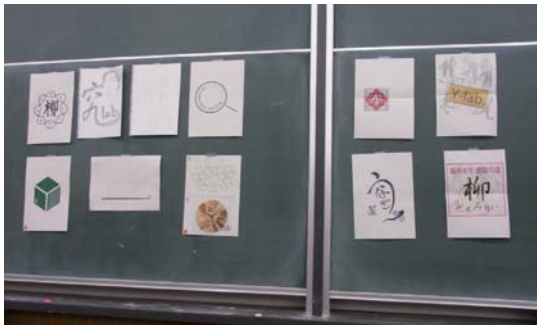


高瀬川コンペ　４月上旬から５月下旬にかけて、今年度初のコンペに取り組みました。このコンペでは京都府の高瀬川とその周辺をスタディエリアとして、文化遺産防災について考えました。４年生が引っぱり、３年生はコンペの進め方やプレゼンの表現方法などを学びました。まだコンペの経験がない上に、ベクターワークスやイラストレーターなどのソフトの使い方が分からない３年生にとって貴重な経験になり、気持ちの面でも第１課題に向けての良い起爆剤となりました。

名古屋建築研究会は身近であるにも関わらず意外と知らない名古屋周辺の建築を見に行こうと企画されました。第１回目は大学巡り。名古屋、愛知県芸、南山、淑徳の４大学を見て回りました。前川國男の県芸校舎のピロティは開放的で気持ちの良い抜けた空間となっていました。レーモンド設計の南山校舎とのつながりも発見でき、有意義な会でした。

柳沢研ロゴコンペには多くの意欲作や問題作が出展されました。激戦の末コンペを制したのは小原さん。この柳沢研ロゴは HP に使用されています。



３年生の第２課題も終わり、SD も一段落したところで打ち上げが行われました。この日は、中村くん、高橋くん、杉浦くん、平野さんのサプライズ誕生日会をしました！人数も多かったので飲み会の前にケーキ屋さんに行って大きなホールケーキを用意しました。さらに！ちょうどこの頃先生のお子さんが生まれたのでお祝いをしました。みんなで何が良いか考えた結果、トイザラスでおむつを買ってプレゼントしました。先生は大きな赤い袋を喜んで持って帰って下さいました。毎回恒例となっている誕生日会ですが、自分の誕生日が近づくとみんな心のどこかで期待してしまいます。なかなか飲み会ができず、だいぶ後になってからのお祝いになってしまった人もいますが、これからもなるべく近いうちに祝っていきたいです。

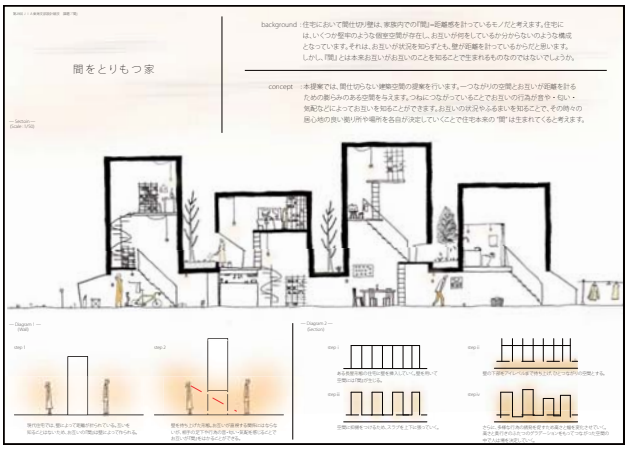
「箱館山プロジェクト」は、ゼミ生がまとまって取り組んだ初めての実施プロジェクトであった。コンセプトメイキングのプレストに始まり、学年関係なく意見やデザインを出しあう雰囲気で進められたスタディの数々は、４年生や３年生にとっても大いに学びの場となっていた。また、初めて取り組む実施プロジェクトということで、その後のモチベーション向上や責任感にも大きく貢献していたことと思う。提案としての密度はもちろん、アイデアコンペとは違ったリアリティの付与や設計論の構築、施主へのプレゼンなど、社会でも求められる世界にいち早く触れることができたのは、誰にとっても有意義であったに違いない。提案としては一般的な住宅街の一画に、人や空間をつなぐための間伐材を多く用いたエンガワを挿入した住宅を設計する。そして年齢を重ね、ライフスタイルの変化と共に終の棲家へとエンガワを一緒に移設するというもの。木で作られたエンガワを、愛着の依代として大事にしてほしい。そうしたモノへの愛着を通して、より住宅を大切にしてもらいたいとの願いを込めた提案であり、これは消費社会に呈する提言でもある。

↓第２回名古屋建築研究会　逢妻交流館と豊田スタジアムに見学に行きました。逢妻交流館は妹島和世が設計した建築で、全面ガラス張りの壁と外壁とそれぞれの機能をもたせた各部屋、トイレや倉庫、エレベーターまでもを徹底的に円で表現することによって、周囲の落ち着いた環境にうまく調和させているように感じました。しかし中を歩いていると、ところどころ幅が狭すぎて歩きにくい廊下や３階の和室や調理実習室に面した反屋外空間など、本当に地域の利用者にとっては使いやすい空間になっているか疑問に感じる面もありました。しかしそれでもコンセプトを貫こうとする設計者の意志が感じられる建築でした。豊田スタジアムは黒川紀章が設計した球技場です。構造や動線計画等、建築学生としては見なければならない部分がたくさんあったのですがそれよりもスタジアムの迫力のほうに見入ってしまいました。右の写真は「グランパスが得点を入れた」という想定のもと、撮影した写真です。みんなとても楽しそうです。

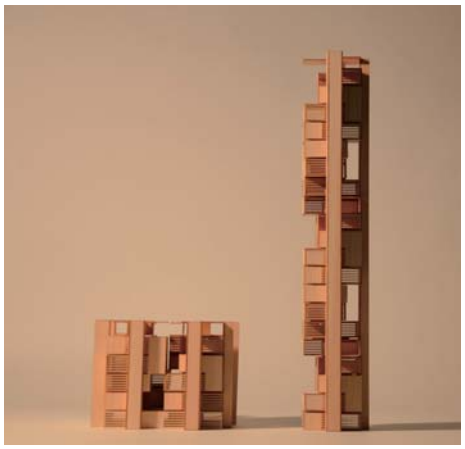
120629 SD Review 2012『エンガワ暮らし』
　　提出
120704 SD 打ち上げ
120704 前期第 13 回ゼミ
120705 名古屋建築研究会 豊田方面
120710 鈴木誕生日
120711 前期第 14 回ゼミ
120712 ３年生第２課題 講評会
120712 前期最終ゼミ
120718 前期第 15 回ゼミ
120727 山本誕生日
120804-5 オープンキャンパス
120808 ゼミ旅行 - 松本
　　柳沢先生誕生日・平松誕生日
120809 ゼミ旅行 - 佐渡
120810 ゼミ旅行 - 上越
120822 立石誕生日
120823 西谷誕生日
120824 函館山プレゼン @IFA
120903-5 柳沢東北被災地視察
120911 サツキとメイの家 & アルチザンハウス見学会
120912-14 日本建築学会大会 @ 名古屋大学
120917 インド８：２プロジェクト
120917 小原誕生日
120925 後期第 1 回ゼミ
120930 駄知町敷地視察
121002 後期第 2 回ゼミ
121002 北川邸プロジェクト
121007 味岡誕生日
121009 後期第 3 回ゼミ
121015 インド 8:2 プロジェクト中間報告
121016 後期第 4 回ゼミ
121017 栄地区放置自転車調査
121023 後期第 5 回ゼミ
121030 後期第 6 回ゼミ
121102 高蔵寺ニュータウン空地・空家調査
121109 第 3 課題 講評会
121110 理工学部オープンラボ
121113 後期第 7 回ゼミ
121113 西原誕生日
121114 大村誕生日
121115 卒業研究計画系中間発表会
121119 KD 邸 模型提出
121120 後期第 8 回ゼミ
121127 後期第 9 回ゼミ
121204 後期第 10 回ゼミ
121211 後期第 11 回ゼミ
121215 呂誕生日
121218 後期第 12 回ゼミ
121221 8 大学合同企画展プレゼン
121222 名古屋建築研究会 @ 常滑
121225 クリスマス忘年会
130122-31 柳沢インド調査
130126 加藤誕生日
130205 後期第 13 回ゼミ・大学広報取材
130214 卒業研究発表会
130215-16 ゼミ配属面談
130220 卒業設計 公開審査会
130223 佐治誕生日
130305 杉本誕生日
130319 卒業式
130322 新校舎 引っ越し
　　追い出しコンパ
130329 平成 25 年度第 0 回ゼミ

←↑第一回柳沢研（＋高井研 森山さん）のゼミ旅行は松本、新潟県佐渡島へ行きました。１日目は松本城、松本市美術館、まつもと市民芸術館、旧開智学校校舎など、松本の建築散策。松本城は当時のまま現存されている国宝であり、天守閣まで急な階段を上らなければいけないことに・・・。でも、それだけ一見の価値がありました。２日目はフェリーで佐渡島へ渡り、佐渡金山、宿根木の集落の土地の形に合わせた三角家（さんかくや）を見学をするなどしました。最終日は吉田五十八設計の小林古径邸へ。この住宅は７０年前に建てられたと思えないほどモダンな建築でめちゃくちゃかっこよかったです。素晴らしい建築を目の当たりにして、終始、みんな興奮しっぱなしでした。最後に忘れてはいけないのがゼミ旅行・宴会係の味岡さんの活躍っぷり。味岡さんの綿密なスケジュール管理のおかげで、普段は見れない建築をたくさん見ることができ、有意義な３日間を過ごすことができました。このゼミ旅行で研究室内の結束も強まったのではないでしょうか。

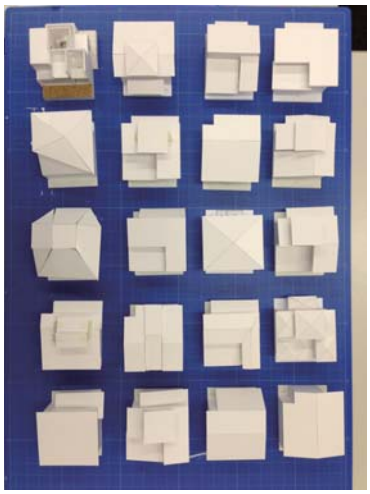
←『インド 8:2 プロジェクト』@panasonic ～インドにおける新しい集合住宅の提案～
このプロジェクトは、Panasonic と提携したプロジェクトであり柳沢先生と鈴木、杉本で行いました。インドの慣れない環境と文化に応じた設計は、とても貴重な経験となりました。プロジェクトの趣旨は、『パッシブデザインを重視した集合住宅の提案』であったため、リサーチと文献調査がとても大切な作業となりました。インドには、建築家が関わった建物が少なくどのような建築が受け入れられるか手探りな状態でした。形態のスタディは、日陰や通風、中庭とインド特有のダランやデオルヒを意識し住戸ユニットを L 字型にして回転させながら積層させた設計となりました。左のモデルは、屋根伏図で見ると卍型となっており、インド人に喜ばれるデザインとなっていると期待してます。右のモデルは、20 階建のモデルとなっています。今後は、いくつかの修正点を踏まえ数十年後にはこの提案がインドに建つことを期待してます。

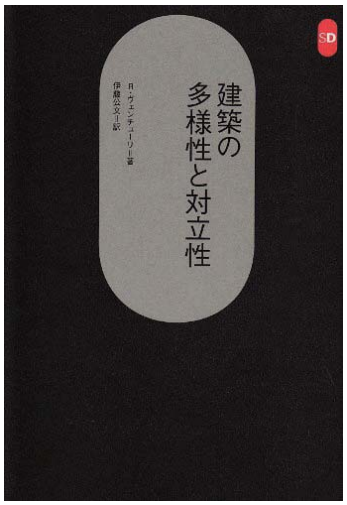



第 29 回 JIA 東海支部設計競技　課題：「間」において銅賞を頂いた作品。タイトル：「間をとりもつ家」コンセプト：間仕切らない住宅空間の提案。ひとつながりの空間とお互いが距離感を計るための膨らみの空間を与えます。常につながっていることでお互いの行為が音や匂い・気配などによって知ることができます。お互いの状況やふるまいを知ることは、その時々の居心地の良い拠り所や場所を各自が決定していく。それこそが、住宅本来の "間" になりえるのではないだろうか。　　４回生　杉本　卓哉



→柳沢研３年生の後期の大きなプロジェクトは北川邸の基本設計でした。４年生が参加せず、実施のプロジェクトという事もあり少し不安でしたが３年生メインで関われるプロジェクトということで全員やる気に満ちていました。敷地は大阪府枚方市の現在資材置き場として使われている場所で、設計の条件が住宅兼資材置き場という一風変わったものでした。施主の北川夫婦は家事がスムーズに行うことができ、開放的なリビングと一家で使う事ができるファミリークローゼットを望んでいました。そこでファミリークローゼットを中心に据えるという方向性が決まりました。条件が整理され、コンセプトをプランに落とし込む段階では住宅の配置パターンで３チームに分かれました。各チームがスタディを重ね出来たプランを北川さんにプレゼンをして１つに絞られたところで、次は平面、立面、断面、屋根という４チームに分かれ、プランを詰めていきました。設計課題ではあまり考えられないようなところまで密にスタディを繰り返し、設計は進んでいきました。屋根のかたちや開口のスタディではかなりの数の模型が作られました。その甲斐があってか出来上がったプランにはみんな満足しているようで、このプロジェクトを通して３年生メンバーはひとつ成長できたように思います。先生は今回設計した住宅は施主である北川さんが３０年以上背負っていくものになると仰っていました。この言葉は３年生全員に響いたはずです。






↑読書ゼミ　３年生後期のゼミでは「建築の多様性と対立生」と「コラージュ・シティ」という２冊の本を読み、全員で理解を深めていきました。ポストモダンの建築・都市について書かれている本で、２冊とも１人で挑戦するには勇気のいる難解な本でしたが、先生の手助けもあり読み進めていく事ができました。まだまだ細かい部分については理解しきれていないところが多いですが、本全体を通して筆者が主張したい事は理解する事ができました。本から学んだ教訓や考え方は課題やコンペの際に参考になる上、難しい本を読んだという自信は自分一人で本を読むときの励みにもなるので、とても有意義なゼミでした。

↑→第３回名古屋建築研究会　３回目となる名古屋建築研究会では焼き物のまちとして有名な常滑へ行きました。常滑にはINAX の企業博物館ややきもの散歩道という観光コースがあり土の持つ魅力を堪能する事ができます。博物館ではタイルやテラコッタ、窯の展示が行われ、どろんこ館では実際に版築を用いた壁を見る事が出来ました。休憩スペースとして古い窯の内部が利用されており珍しい空間を体験しました。散歩道では地上産業を観光として利用した魅力的なまちづくりを目にする事ができました。街全体がやきもの一色となっていてただ歩くだけでも楽しいまちでした。

←KD 邸模型制作　KD 邸は精神科医を勤めるご主人のための住宅です。歳がひと回り離れたご夫婦なので子供を含めた３世代が共に暮らす家として考えられています。この住宅の設計は他の設計事務所にも相談されていたそうなので、力の入れた模型を作る事になりました。ジェッソを塗ったおかげか床に使ったヒノキの映える素敵な模型になりました。このプロジェクトは現在も進行中です。

↑卒業設計　１２月になると４年生は卒業設計に大忙しです。製図室を改造して各個人スペースを作って作業していました。寝袋や暖房器具、さらには冷蔵庫まで持ち込んで寝泊まりしながら、２月頭の締め切りを目指して作業が続けられました。２年生・３年生も手伝いに駆けつけゼミ生総出で作品を作りました。作業は大変でしたが出来上がる作品はどれも魅力に満ちていました。完成した作品は学内での審査会を経たのち、SDL やディプコレ、ディプロマにそれぞれ提出されました。杉本さんの作品はディプコレで審査員賞をもらいました。

←いよいよ新校舎へ引っ越しの日がやってきました。この日初めて新校舎に入ることができ、新しい研究室と対面しました。この日は新３、４年生と M１の方たちでせっせと研究室の片付けをしました。新３年生がたくさん入ってくれたため、あっという間に片付きました。しかし新しい部屋の中に実際に入って前の研究室からそのまま運んできた家具を配置してみると、いまいちだったため先生から”かっこよく片付けられた研究室”というお題をいただき、すぐにレイアウト会議が行われました。結局家具を自分たちで作ってしまおうということになりました。これからみんなで力を合わせて家具を作っていき、最高にかっこいい研究室にしていきます。